

授業科目

教育課程論

【担当教員名】 吉田 重和	対象学年	3	対象学科	健栄・スポ・看護
	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
		○	◎	○
【概要・一般目標 : G10】 公教育（学校教育）の枠組みにおいて、数ある文化的価値の中からいかなる内容を取り上げるのか、また取り上げられた内容をいかに組織し、「なにを・いつ・だれに」教えるのか、を決定することは重要である。教育という営みを目的・内容・方法で分けたとき、この内容に当たる部分が教育課程ということになる。 本講義では、教育課程の意義、編成原理、編成上の様々な要請について多角的に検討する。本講義で学んだ教育課程編成の考え方を活かすことで、受講者が、各教科の専門科目における教育課程を分析し、批判的に検討することができるようになることを目標とする。				
【学習目標】 1. 教育課程の意義について知る。 2. 教育課程編成の編成における歴史的・社会的・思想的背景について説明できる。 3. 教育課程編成における原理・原則を説明できる。 4. 教育課程の編成と評価について説明できる。				
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号 学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション／教育課程の意義			1 講義
2	近代日本の教育課程の歩み—近代学校制度と教育課程			2 講義
3	現代日本の教育課程の歩み—系統主義、経験主義			2 講義
4	現代日本の教育課程の歩み—教育の現代化、人間性重視の教育			2 講義
5	現代日本の教育課程の歩み—新学力観、生きる力、確かな学力			2 講義
6	教育課程開発の新しい動き—生活科、教育課程再編構想			3 講義
7	教育課程の思想と構造—生活と科学、領域論			3 講義
8	教育課程の思想と構造—領域論、履修原理			3 講義
9	教育課程の編成—構成要件、編成論の変遷			3 講義
10	教育課程の編成—基本原理			3 講義
11	教育課程の評価—学力評価、真正の評価			3 講義
12	社会における教育課程—近代学校批判			1 講義
13	教育課程編成における今日的課題			1 講義
14	諸外国の教育課程改革			1 講義
15	まとめ			1, 2, 3, 4 まとめ
【使用図書】				
教科書 (必ず購入する書籍)	<書名>			
参考書	新しい時代の教育課程 改訂版		田中 耕治、水原 克 有斐閣 敏、三石 初雄 他	2009・1, 900 円+税
その他の資料	必要に応じてプリントを配布			
【評価方法】 出席、小テスト、ワークシートおよび期末試験		【履修上の留意点】 本講義を受講するにあたっては、「教職概論」をはじめとする教職課程の各科目を履修していることが望ましい。		